

平成26年度
第5期 第1回中原区区民会議

日時 平成26年7月29日（火）14：00～

場所 中原区役所5階 502・503会議室

1 開催日時 平成26年7月29日(火)午後2時～4時17分

2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室

3 出席者

(委員) 板倉委員長、橋本副委員長、成田副委員長、石川委員、井上委員、梅原委員、尾木委員、梶川委員、園部委員、反町委員、田中委員、塚本委員、長尾委員、仲亀委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、松澤委員、松本委員、山崎委員

(参与) 市古参与、大庭参与、押本参与、原参与、松川参与、松原参与、吉岡参与

(事務局) 板橋区長、小野副区長、今井課長、岩瀬部長、稲葉部長、大塚所長、諏佐室長、鈴木所長、八木課長

企画課：江口係長、倉見係長、大崎職員、野並職員、西山職員

4 議題 (1) 第5期区民会議の審議テーマについて(公開)

(2) 区民会議の広報について(公開)

5 傍聴者 なし

6 会議内容

午後2時 開会

委嘱状交付

司会 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第1回中原区区民会議を開催させていただきます。本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます。私、中原区役所副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、会議に先立ちまして、第5期中原区区民会議委員の皆様には中原区長から委嘱状を交付させていただきます。私がお1人ずつお名前を申し上げますので、その場で御起立をお願いいたしまして、委嘱状をお受け取りいただきたいと存じます。

それでは、区長をお願いいたします。

〔区長から各委員へ委嘱状交付〕

司会 委嘱状の交付は以上でございます。

以上で交付式を終わらせていただきます。

1 開会

司会 それでは改めまして、これより第1回中原区区民会議を開会いたします。

初めに、会議の開会に当たりまして、中原区長の板橋より御挨拶申し上げます。

区長 皆様、こんにちは。きょうは、暑い中、どうもありがとうございます。今、福田市長からということで、皆さん方に委嘱をさせていただきました。これより第5期の中原区区民会議が発足するということでお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

す。

この区民会議につきましては、区民会議条例の制定の根拠となった条例として自治基本条例というのがあるんですけども、川崎市の自治を進めていくためにその1つの機関として各区に区民会議を設置するという条例設置の機関となっておりますので、私ども中原区としましても一番上位の会議であると認識をしておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思っています。これまでに既に経験をされた方もいらっしゃいますし、また、新しく来られた方も準備会議でいろいろな御説明を受けたと思いますが、約2年間をかけて中原区の課題を発見し、そしてまた、皆さん方で調査、審議をしていただいて、幾つかの提案をいただき、その提案につきましては区役所としては実現に向けての方向性や取組を尊重するような仕組みになっておりますので、これまでも4期にわたりましてさまざまな御提案をいただき、さまざまな事業の実現に向かって邁進してきたところでございます。引き続き今回、第5期につきましても皆様方の慎重な審議をお願ひし、また、私どもに対しまして非常に価値ある提案をお願ひしたいと考えています。

ところで、実は中原区区民会議はほかの区の区民会議とは少しやり方が違ってまして、ほかの区の区民会議は最初に3つなり、4つなりの議論をし、それを同時並行的に議論し、2年後に3つ、4つの提案をいただくような形になっているんですけども、中原の場合は時間を区切って、それぞれ2つなり、3つなりのテーマを集中的に審議していただいて、半年後ぐらいに1つずつぐらい提案をいただくことになっていまして、そういう意味では、2年の任期の間に、実は御提案いただいたことについて、できるものは既に着手をするような仕組みになっています。年に1回、7区の区民会議の交流会がありますので、そんなこともぜひほかの区の皆さん方と交流して認識いただければと思っています。

いずれにしましても、川崎市が自治基本条例にうたっています川崎市の市民の自治を実現するという最先端の会議であることを繰り返しお話しさせていただきまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

2 出席者自己紹介

司会 それでは続きまして、出席者の皆様の御紹介をいたします。

初めに、区民会議委員の皆様方に、席順に従って選出区分や所属団体を含めまして自己紹介をお願ひしたいと存じます。その後、引き続き区民会議の参与といたしまして御出席をいただいております議員の皆様から自己紹介をお願ひしたいと存じます。

なお、市議会議員の川島参与、東参与につきましては、所用により欠席の御連絡をいただいております。ほかの参与の方で、まだ若干お見えになっていない方がいらっしゃいますが、御欠席の連絡はいただいておりますので、後ほどお見えになるかと思ひます。

それでは、自己紹介に当たりまして、お手元のマイクを順次回していただきますようお

願いたします。恐れ入りますが、お1人当たり大体30秒程度でお願いをしたいと思います。

まず初めに、石川委員より願いたします。

石川委員 皆さん、こんにちは。私、石川喜久雄と申します。住まいは新城です。新城商店街振興組合というところに位置しております、商人でございます。商売は瀬戸物屋です。また、新城商店街振興組合において14年間理事長を務めております。またよろしく願いたします。

終わります。

板倉委員 板倉徹と申します。中原区まちづくり推進委員会の委員長をやっております。区民会議につきましては最後の3期目と申しますか、一応4年続けてまいりまして、それなりの問題点を頭の中にたくさん抱えて込んでしまったという状況にあります。

よろしく願いたします。

井上委員 皆さん、こんにちは。中原アシストクラブの井上と申します。中原アシストクラブは、川崎フロンターレという川崎市にあるプロサッカーチームを活用してまちづくりをしていこうという目的を持って運営している団体です。皆さん、御存じのとおり、中原区には等々力陸上競技場というフロンターレが試合をやっている会場もありますし、多くの方にフロンターレを応援していただいているような土台がありますので、ぜひそういった形で中原アシストクラブとしてもこの会議に参加して、貢献していきたいと思っております。

よろしく願いたします。

梅原委員 梅原と申します。よろしく願いたします。ボーイ&ガールスカウト中原区協議会の会長をやっております。それから、ボーイスカウト川崎22団という団体がありますけれども、それをまとめさせていただいております。いつも考えることなんですけれども、子育ての中で子どもを教育するのは一番大事ですけれども、ボーイスカウトの団にいる子どもたちを見ますと、どうも親の教育が大事ではないかなということで、できれば子育てというのも親の教育を大事に考えていきたいと思っております。

よろしく願いたします。

尾木委員 尾木と申します。私は、中原区自主防災組織連絡協議会から推薦で参加しております。

どうぞよろしく願申し上げます。

梶川委員 梶川明美と申します。住まいは中原区木月でございます。中原区文化協会から選出されました。その中で編集のお手伝いをさせていただいております。

よろしく願いたします。

園部委員 こんにちは。私は園部と申しまして、中原区町内会婦人部連絡協議会というとても長い名前の団体から選出されております。ふだん私たちは中町婦連と呼んでおります

が、各町会に町会長さんがいらして、女性部長さんがいらっしゃるんですけども、その女性部長さんたちの団体でございます。そういうことから考えて、やはり町会のことについて少し考えたいなと思って、町会と言うとちょっと口幅ったいですが、皆さんの参加があるといいなということで、考えていきたいなと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

反町委員 反町充宏と申します。区民会議は3期目でございます。今回公募で参加させていただくんですが、活動の母体としては、ここ中原区内に事務所がございますNPO法人カワサキミュージックキャストというところで、川崎市の音楽のまちづくりと一緒に推進させていただくというNPOの代表をやらせていただいております。この区民会議ではとにかく私の世代の代表としてどんどん議論に参加して、そして行動に移していきたいと思っております。

以上です。よろしくお願いいたします。

田中委員 田中でございます。私は、中原区社協から推薦を受けております。

どうぞよろしくお願いいたします。

塚本委員 塚本と申します。NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントという団体で今、事務局担当、専務理事をしております。このNPO法人なんですけれども、現在武蔵小杉駅前再開発で建ちました分譲の超高層マンション8棟約4,500住戸、住民にして1万2、3千人が中心になって、会員になって活動している団体でございます。

よろしくお願いいたします。

長尾委員 長尾と申します。中原区PTA協議会より参りました。

よろしくお願いいたします。

中森委員 中森ジュリアみどりと申します。日系2世、ブラジル出身です。今回は2期目になります。住まいは宮内です。

皆さん、よろしくお願いいたします。

仲亀委員 私は仲亀依子と申します。私、初めてこういう区民会議に出席させていただきました。私は、視力の川崎市身体障害者協会という団体から出してもらえないかということで参加させていただきました。障害者の立場から見てのまちづくりとか、障害者の方たちに対してということで、何かにつけて気がついたことを発表させていただきたいと思いません。

よろしくお願いいたします。

成田委員 皆さん、こんにちは。成田孝子と申します。このたび中原区子育てネットワークから参りました。中原区子育てネットワークは平成18年に立ち上がりまして、就学前の乳幼児さんを中心に、子育て支援を目的とした各団体や関係機関26の組織で、子育てに関する年3回のネットワーク会議で情報交換ですとか、ネットワーク連携を語り合ったり、その他、4つの部会に分かれまして、子ネット通信の編集ですとか、子ども未来フェスタ

の開催、子育てボランティアの研修などを開いている団体です。私は、そちらのほうで中原区主任児童委員部会の主任児童委員として参加させていただいています。今回が2回目の参加になりますので、またいろいろ皆様方に教えていただきながら勉強してまいりたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

仁上委員 仁上と申します。住吉第2地区の民生委員児童委員を拝命しておりまして、同時に中原区民生委員児童委員協議会の副会長を仰せつかっております。今回そちらから選出されて、初めての参加でございます。

どうぞよろしくお願ひします。

萩原委員 萩原ひとみと申します。今回、中原工場協会の代表で出ております。先ほど何の工場ですかと言われたんですけども、私自身はサービス業でございます。今、工場協会は工場だけではなくて、たくさんのサービス業、保険業ですとか、飲食業ですとか、いろいろな業界が入って、一緒に頑張っております。個人的にはいろいろな市民活動に取り組んできましたけれども、やっぱり住んでいてよかったなというまちになるように、商店街ですとか、ものづくりですとか、町会ですとか、新しい方々も一緒になって、みんなで取り組めるような心温かなコミュニティができればいいなと思っています。

よろしくお願ひいたします。

橋本委員 橋本です。中原区市民健康の森を育てる会から出ております。健康の森、十何年たったわけですが、最近健康の森といいますと、蛍の関係で、子ども蛍をほかから購入して、皆さんに見ていただくというのが人気になりまして、この時期になりますと毎日何百人という方が見えるようになりまして、我々の活動も十何年たってさま変わりしてきたのかなと思っています。この会は2期目になりますので、皆さんの意見を伺いながら課題の解決に当たっていきたくて考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

松澤委員 松澤と申します。今回初めて参加させていただきます。私の推薦団体は川崎地域連合、ちょっと聞きなれないかもしれませんが、川崎市に在籍する企業の労働組合の集まりですので、私も労働組合の執行委員を仰せつかっております。そういうことですので、こちらの地域で働いている人たちの代表というか、そんな目線で皆さんと論議できればよろしいかなと思いますので、よろしくお願ひいたします。

松本委員 松本と申します。中原区町内会連絡協議会から推薦されました。中原区は5地区76町会ございますが、その町会の中から推薦されました。住んでいるところは、中原区で唯一山がある井田山の麓の井田中学校前の井田地区でございます。

皆さん、よろしくお願ひします。

山崎委員 山崎初美と申します。今回初めて公募で応募させていただきました。ここに来させていただきます。よろしくお願ひいたします。中原区での活動は主に食生活改善推進員連絡協議会という団体で、食育を中心に、全世代にわたって健康な体と健康な心

を持った市民になろうというボランティア活動をしております。

よろしく願いいたします。

司会 ありがとうございます。

引き続き、参与の皆様をお願いしたいと存じます。

市古参与 皆さん、こんにちは。市議会議員の市古映美です。今、皆様の自己紹介をお聞きしておりまして、また一段と区民会議がパワーアップして、よい議論がされるんだろくなということで聞かせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

原参与 陣屋町からやってまいりました原典之でございます。私も皆さんとともに活力ある中原区づくりを進めていきたいと思っておりますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

松原参与 皆様、こんにちは。市議会議員の松原成文でございます。お暑い中、大変御苦労さまでございます。それぞれの所属団体があるわけでございますけれども、その所属団体、あるいはまた個人から見た区政、市政それぞれの見方等々についても意見を拝聴させていただきまして、議会活動に反映をさせていきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

司会 ありがとうございます。

続きまして、私ども事務局職員及び区役所出席者の自己紹介をさせていただきます。

事務局 企画課長、今井でございます。区民会議の事務局を仰せつかっております。

よろしく願いいたします。

事務局 生涯学習支援課、中原市民館長の岩瀬です。よろしく願いいたします。

事務局 区民サービス部長、稲葉でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 保健福祉センター所長の大塚でございます。よろしく願いいたします。

事務局 こども支援室、諏佐です。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 道路公園センター所長の鈴木でございます。よろしく願いいたします。

事務局 総務課長の八木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

司会 それでは、こちらの奥のほうに座っていただいておりますのが株式会社カイトの岩下さんです。岩下さんにつきましては、今後の中原区区民会議の運営に当たりまして、事務局を補助していただくことになっております。

次に、議事に入ります前に、本日お配りしております資料につきまして事務局から確認をさせていただきます。

事務局 それでは、事務局より本日の会議の資料の確認をさせていただきます。クリップでとめてございますので、クリップを外して御確認いただきますようお願いいたします。

まず1枚目、本日、第1回中原区区民会議の次第がございます。

1枚おめくりいただきまして、別添1といたしまして、本日の席次表を添付してございます。

おめくりいただきまして、別添2、本会議の委員及び参与名簿でございます。

おめくりいただきまして、ここからが資料となりますが、資料1といたしまして、専門部会の設置についてというA4、1枚の紙がございます。

続きまして、資料2といたしまして、第5期区民会議審議テーマ検討資料という資料がございます。こちらはA3の資料で全部で5ページになっておりまして、1ページ、2ページ、3ページ目までがカラーのものでございまして、4ページ目、5ページ目はモノクロの資料となっております。

続きまして、資料3は第5期中原区区民会議スケジュール（案）でございます。こちらはホチキスどめしておりまして、2枚目は参考といたしまして前期、第4期のスケジュールをおつけしてございます。

続きまして、資料4、第5期中原区区民会議広報案の資料でございます。A4の1枚の資料でございます。

続きまして、資料番号は振ってございませんが、「中原区の木を募集します！」というカラーのチラシをつけております。

続きまして、参考資料といたしまして「なかはら区民会議だより」第16号ということで、2年前、第4期区民会議の区民会議が立ち上がったときの最初の区民会議だよりを添付してございます。

資料については以上でございます。

司会 ただいま資料について確認をさせていただきましたが、資料の過不足等いかがでございでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 それでは続きまして、事務局から会議公開等につきまして御説明をさせていただきます。

事務局 会議公開について御説明をさせていただきます。

本市は、行政運営の透明性を確保するため、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして、審議会等を開催する際には公開しております。区民会議につきましては会議録を作成し公開することといたしておりますので、会議終了まで録音をさせていただきますことを御了承いただきたいと存じます。また、この条例の趣旨に沿って会議を公開し、傍聴を許可しておりますので、御了解いただきたいと存じます。

なお、会議では報道関係の取材につきまして協力をしておりますので、これにつきましても御了解いただきたいと存じます。

次に、区役所の記録及び広報用といたしまして、会議の様子を写真などにより記録させていただきます。これらの写真等は市政だよりや区ホームページなどに使用させていただくこととなりますので、あらかじめ御了承の上、御協力いただきますよう、併せてお願いいたします。

以上でございます。

3 正副委員長の互選

司会 それでは続きまして、次第に従いまして正副委員長の選任に入らせていただきます。正副委員長の選任に当たりましては、川崎市区民会議条例第5条第1項の規定により、委員による互選となっておりますので、よろしく願いいたします。

まず、委員長の選任についてお諮りをいたします。皆様、いかがでございましょうか。

尾木委員 せんだって準備会議で何を審議テーマにしようかという話が出たと思うんですが、共通の話題は地域の活性化というんですか。それから、これだけマンションが建っていますので、新しく来られる住民の方と古くからというか、前からいらっしゃる住民の方の交流等も大きなテーマになろうかと思うので、この区域に住んでいらっしゃる前副委員長の板倉さんを、私、同じ町会なんですけれども、御推薦したいなと思っております。

以上です。

司会 ただいま尾木委員から板倉委員を推薦する旨の御発言がございました。ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 特に意見がなければ、委員長には板倉委員に御就任いただくことをお諮りしたいと思います。よろしければ、皆様方、拍手で御承認をお願いしたいと思います。

〔拍手〕

司会 ありがとうございます。それでは、板倉委員、委員長の就任、よろしく願いいたします。

続きまして、副委員長の選任についてお諮りいたします。副委員長には、2名の方の選出をお願いしたいと存じます。皆様、いかがでございましょうか。

中森委員 私は、副委員長に橋本委員と成田委員を推薦したいです。

まず、橋本委員を推薦したい理由は、第2期目から委員として活動していて、これまでの御経験を生かして委員長をサポートしていけると思っています。また、中原区市民健康の森を育てる会にかかわっていて、中原区の市民活動団体の状況もよく知っているということで、皆さんを引っ張ってくれると思います。

次に、成田委員に関しては、橋本委員と同じく第2期目から委員として参加していて、これまでの御経験を生かして委員長をサポートしていけると思っています。また、中原区子育てネットワークとして行政との協働事業を実施されているということで、皆さんを引っ張ってってくれると思います。

以上の理由で橋本委員と成田委員を副委員長として推薦したいと思います。

司会 ありがとうございます。ただいま中森委員から橋本委員と成田委員を推薦する旨の御発言がございましたが、ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 特に御意見がなければ、副委員長には橋本委員と成田委員に御就任いただくことをお諮りいたします。よろしければ、皆様から拍手をお願いします。

〔拍手〕

司会 ありがとうございます。それでは、橋本委員、成田委員、副委員長の就任につきましてどうぞよろしく願いいたします。

それでは、これからの議事につきましては、委員長、副委員長に進めていただくこととなりますので、恐れ入りますが、前の席へ移動をお願いいたします。

〔板倉委員長・橋本副委員長・成田副委員長、正副委員長席に移動〕

司会 それでは、委員長、副委員長に就任の御挨拶をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくをお願いします。

板倉委員長 任期もあと2年ということで、6年目になりますので、最後の御奉仕といたしますか、やっていきたいと思っています。皆さんも御存じのように再開発が非常に進んでいます。それも次から次へとふえてくるということで、実際どんな問題が隠れているかというのはよくわからなくなっているのではないかと、もしくは問題がどんどんふえているのではないかと非常に心配しております。そういう問題点をできるだけ区民目線で洗い出して、何かできることがあればいいのではないかと、また、特に新旧住民と言ってしまうのは悪いですけれども、いた人、来た人という表現がいいかどうかかわからないんですが、そういう方々との交流を通して活性化を図っていったらいいのかなと現在思っております。

ただ、いろいろな問題を抱え込んで、頭の中も混乱してしまうかも知れませんが、それなりに整理をして進めていきたいと思っておりますので、よろしく御協力をお願いいたします。

橋本副委員長 橋本です。今、板倉委員長が発言されましたように多くの課題を抱えている中原区でございますので、私は委員の皆様から活発な意見をいろいろ出していただいて、まとめるということで、委員長のサポートをしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

成田副委員長 改めまして、成田と申します。皆さん方、本当に幅広い分野で活躍されている方々の中で、私のような者がこの席に座るのは非常に申しわけないんですけれども、2年間、頑張らせていただきます。私は子育てに関わる分野が多かったもので、前回の会議でも子育てに関わるいろいろな問題が出ましたが、中原区は子どもだけではなく、高齢者から外国籍の方、障害をお持ちの方、いろいろな方々の生活が本当に豊かになるような話し合いを深めていければいいかなと思います。私は委員長のサポートの橋本副委員長のさらにサポートということで、後からついていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

司会 委員長、副委員長、それぞれ御挨拶ありがとうございました。

それでは、区民会議条例第6条におきまして「委員長はその会議の議長となる」と規定をされておりますので、ここからの進行は委員長にお願いしたいと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

板倉委員長 それでは、ここからの議事進行は私が務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

4 会議録確認委員の選任

板倉委員長 まず、会議録確認委員の選任をしたいと思います。

選任を行う前に、会議録確認委員の役割について、事務局から御説明をお願いしたいと思います。

事務局 会議録確認委員について御説明をさせていただきます。

区民会議は広く公開されるべき審議会でございますので、会議録を作成することは先ほど御説明申し上げました。会議録につきましては速記者の方にお越しいただきまして作成をお願いしているところでございますが、委員の皆様におかれましては、作成後の会議録の内容について御確認をお願いいたします。確認に当たりましては、委員の皆様の負担を平等にするために会議ごとに委員長及び副委員長を除いた委員の持ち回りで2名の方をお願いをさせていただければと存じますので、御協力をお願いいたします。

以上でございます。

板倉委員長 事務局から御説明をいただきましたが、何か御質問ございますか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、会議ごとに2名の委員の方をお願いすることになっておりますので、いつもは名簿の最初の方なのですが、ちょっと気分を変えて後ろから御指名をさせていただきます。したがって、今回は、山崎委員、松本委員をお願いいたしますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、よろしくお願いいたします。

5 専門部会の設置及び専門部会委員の選任

板倉委員長 続きまして、専門部会の設置及び専門部会委員の選任についてお諮りをいたします。

初めに、事務局から、専門部会の設置についての説明をお願いいたします。

事務局 それでは、専門部会の設置について御説明いたします。

専門部会は、区民会議の調査審議をより専門的、また、機動的に行う必要がある場合などに設置し、区民会議から付託される事案の調査検討を行うものでございます。専門部会

の設置につきましては、資料1、専門部会の設置についてをごらんいただきたいと思えます。資料にありますように、主に区民会議条例施行規則に規定されておきまして、第4条第2項におきまして「専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」こと、第3項で「専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める」こと、第4項で「専門部会は、調査検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる」こと、第5項で「部会長は、専門部会の事務を掌理し、専門部会の調査検討の経過及び結果を区民会議に報告するものとする」と規定されております。本会議での審議を補完するために、専門部会の設置を行うに当たりまして、第5期中原区区民会議におきましては、幹事会的な役割を持つ部会である運営部会と選定された課題の調査検討を行う課題調査部会を設置していくことを御提案させていただきます。

まず、運営部会でございますが、運営部会は、区民会議の円滑な運営を図るため、検討テーマや会議の具体的な運営のあり方等について調整する役割を担う専門部会でございます。構成員は正副委員長を含め6名程度、必要に応じて適宜開催することとなっております。なお、第4期でも設置したものでございまして、2年間で7回開催し協議していただきました。運営部会の審議内容といたしましては、本会議に先立ち、区民会議で取り組む検討テーマの選定や会議運営の流れ、報告書の取りまとめ、市民報告会の内容の検討などを行います。

次に、課題調査部会でございますが、区民会議での議論や意見を整理して、課題解決に必要な情報の収集や調査を行い、区民会議での議論をより効果的に解決に向けた取り組みに発展させるための補完的な役割を果たすものでございます。構成員は7名程度として、取り扱う課題ごとに適宜柔軟に部会委員を選出できるものといたします。開催時期は、区民会議の開催時期に合わせて適宜開催することを想定しております。課題調査部会の審議内容といたしましては、区民会議で取り組む地域課題について区民会議における委員の意見を整理して、より掘り下げた検証を行い、課題解決に向けた具体的な取り組みの検討を行うことを想定してございます。

事務局といたしましては、この2つの部会について第5期で設置していくことを御提案させていただきますと考えております。

以上が事務局からの御提案でございます。

板倉委員長 事務局からの説明は以上のおりですが、御質問ありますか。急に言われても、運営部会等、なかなかわからないと思えますので、もしわからないことがあれば御質問をいただきたいんですが。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 では、なければ、前回同様、2つの専門部会を設置するということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 では、御異議ないようですので、この2つの部会を設置することにいたします。

次に、専門部会の委員ですが、区民会議条例施行規則第4条第2項におきまして「専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」と規定されています。したがって、これから正副委員長でしばらく協議の時間をいただき、正副委員長により部会構成案を作成し、皆様にお示ししたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、先ほどお諮りいたしました専門部会のうち、課題調査部会は運営部会の後にできるという形になります。今回の区民会議で取り上げる検討テーマがまだ決まっておきませんので、これは第2回の区民会議で改めて課題調査部会の構成員をお諮りしたいと思います。したがって、本日は運営部会のみを選出をやらせていただきたいということにいたします。

これから正副委員長案を作成いたしますので、ここで休憩を10分程度挟みたいと思います。じゃ、14時55分までお時間をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

〔休憩〕

板倉委員長 それでは、会議を再開させていただきます。

正副委員長案を作成いたしましたので、説明をさせていただきます。まず、運営部会としては、委員長板倉、副委員長成田、副委員長橋本、そのほかに委員の方として、反町委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、以上7名ということで進めさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 よろしくお願ひいたします。

6 議題

(1) 第5期区民会議の審議テーマについて

板倉委員長 それでは、本日の議題であります第5期区民会議の審議テーマについて審議を進めてまいります。

なお、区民会議には、先ほども御紹介ありましたように中原区が選挙区となっております市議会議員、県議会議員の皆様方に出席をしていただいております。本日のこの会議の終了前に、各参与の方々には今後の区民会議運営に当たって何か助言をいただけると幸いですので、よろしくお願ひしたいと思います。

では、区民会議で取り上げる検討テーマは、私ども委員の日頃の取り組みや周りの区民の皆さんの声などから、緊急性とか重要性を勘案して、その中から選定することを考えております。本日は、委員の皆様1人1人が考えている区民会議で取り上げたい地域の課題

などについて、この場で意見の交換を進めていきたいと思っています。

それでは、議題の審議の前に、事務局からこの議題に関する資料の説明をお願いしたいと思います。

事務局 それでは、事務局より資料の説明をさせていただきたいと思います。資料につきましては、資料2、A3の5ページになっている資料を使って御説明させていただきたいと思いますので、御準備のほどよろしくお願いいたします。

今、委員長からお話しございましたとおり、今後、区民会議で検討テーマを決定していただくことになるわけがございますけれども、区民会議の中で、委員の皆様が地域でお感じになっていらっしゃるさまざまな課題等あると思いますので、緊急性ですとか重要性を勘案して決定していただくことになっております。今回御用意いたしました資料につきましては、この第1回の区民会議に先立ちまして、先日、7月14日に準備会議を開催させていただきました。その際に委員の皆様にお集まりいただきまして、御意見をいただいたところでございます。その際に審議テーマの検討シートというものを御記載いただきまして、皆様が取り組みたいテーマ、地域課題といったものについて御記入をいただき、また、御発表いただいたところでございます。また、御欠席の委員の方につきましては、後ほどそちらのシートについても御記入をいただいたというところでまとめさせていただいた資料がこちらの資料2でございます。

まず、1枚目は総まとめの資料になってございますので、2ページ目をお開きいただければと思います。こちらの検討テーマにつきましては、テーマの番号を振らせていただいて、分野を分けて御記入いただいたところでございます。その中で、テーマ番号①といたしましては、交通、防災、防犯、安全・安心のまちづくりでございまして、その中で特に交通について検討テーマに挙げていらっしゃる方が括弧の中で書いてある数字、意見数、5つの意見があったということでございます。さらに、その中の分野として書いているのが、キーワードとして書いてございますけれども、交通のマナーアップというのがお2人、自転車交通安全というのがお2人、放置自転車対策がお1人というような形で御審議いただきましたので、それをまとめたのがこういう形でございます。

さらに、防災につきましては、5つの意見がございまして、災害時要支援者対策ですとか防災訓練の連携、外国人の防災、家庭防災対策ということで御審議いただいたものをこのようにまとめているということでございます。また、防犯、安全・安心についても3つの意見がございまして、以下のとおりの資料となっております。

同様にテーマ番号②といたしましては、高齢者福祉、弱者支援、健康推進という分野でまとめてございます。その中で高齢者福祉については4つの意見がございまして、キーワードとしては、独居者・ひきこもり等の対策、右のほうに移りまして高齢者の精神ケア、高齢者の見守りというような意見を頂戴しているところでございます。

また、弱者支援についても2つの意見がございまして、さらに健康推進についてもお1

つ意見がございまして、特に食育というキーワードがございました。

テーマ番号③といたしましては、子育て、教育という分野になっております。その中で子育てにつきましては、やはり非常に多くの御意見、提案をいただいているところでございます。その中のキーワードといたしましては、遊び場・居場所づくりというキーワードで3つのテーマをくくらせていただいております。親子の交流の場・イベントということで、こちらは2つ御意見を頂戴しております。さらに、子育て支援、子育て相談、出産支援というキーワードでは6個の意見をまとめているような形になっております。

次の教育につきましては、家庭教育という面でお1つ意見を頂戴しているということでございます。

おめくりいただきまして、3ページ目になりますが、こちらについては左上、テーマ番号④になりまして、ごみ問題、緑、環境というところでございます。ごみ問題につきましては、リサイクル・ごみ減量とごみ排出マナーというような観点でいただいております。

緑につきましてはお1つ、また、シャッター落書き対策という点でお1つ意見を頂戴しております。

テーマ番号⑤といたしましては、産業振興、魅力発信ということで、産業振興につきましては商店街の振興・活性化ということでお2つ、商・工・ものづくり魅力発信という点でお1つ頂戴しております。

また、魅力発信ということで、区の魅力の発信というような観点でも意見を頂戴しています。

右のほうに移っていただきまして、テーマ番号⑥は文化、観光、スポーツという分野になっております。文化、スポーツという点で、キーワードとしては2つございます。こちらは文化活動支援・連携ということで2つ御意見がございます。さらに、スポーツ環境の整備ということで1つ意見がございます。

テーマ番号⑦といたしましては、地域活動・市民活動・自治・地域コミュニティということで、こちらも多く意見をいただいているところでございます。地域コミュニティにつきましては、新旧住民の交流、世代間交流、新旧住民への情報発信、地域情報マップというようなキーワードで御意見を幅広く頂戴しております。

地域活動につきましても、地域人材発掘・育成という点、また、地域団体のネットワーク化、さらには地域活動・町内会・自治会活動の活性化といったような御意見を頂戴しています。

また、これらの分野にくくられないその他というような意見で、区民会議のPRとオリンピック・パラリンピックに向けた取組ということにつきましても意見を頂戴しております。

なお、4ページ目、5ページ目につきましては、実際に委員の方からいただいた記載をほぼ原文に沿った内容で載せているものでございますので、後ほど御参照いただければと

思います。

以上のようにいただいた意見につきまして、意見シート、検討シートをまとめたものを1ページ目で資料として御用意をさせていただいております。こちらにつきましては、先ほど分野として分けたテーマにつきましては、テーマ①からテーマ⑦まででありまして、テーマ⑧としてその他としておりますけれども、一番上のテーマ①につきまして、交通、防災、防犯、安全・安心のまちづくりということで、一番上の右のほうに1列に並ぶ形で、交通については1つの箱をつくって5つの意見を頂戴している、その右側の防災についても意見を5つ頂戴している、その右側には防犯、安全・安心という形で3つの意見を頂戴しているということで、右の列に並ぶような形で整理をしております。その下の列としてはテーマ②、こちら高齢者福祉、弱者支援、健康推進ということで、同様に高齢者福祉は4つの意見、弱者支援については2つの意見、健康推進については1つの意見ということで、それぞれの箱ごとに載せております。以下、同様にテーマ③について、子育て、教育、また、テーマ④についてはごみ問題、緑、環境ということで載せてございます。それぞれ御記載いただいた中では検討テーマの分野ということで記載いただいておりますけれども、皆さまに検討を伺っている中で、やはりそれぞれの分野に必ずしも縛られる御意見ばかりではなくて、例えば交通という中で、交通マナーという観点の御意見がございましたけれども、この交通マナーというのは、例えば教育という中での家庭教育、あるいはごみ問題といった中でのごみ排出マナーといった観点も1つにまとめていくと、分野横断して、例えばモラル・マナーというようなキーワードでくくられるのではないかというような点も、この資料の中では例としてお示ししております。

こちらにつきましては、事務局のほうでいただいた検討テーマ、検討シートについて少し分析を加えて載せているものでございますけれども、必ずしもこの分野横断テーマについてがテーマとしてふさわしいと決定していくというようなことではございませんので、この資料を参考に今後御議論いただければという形で載せているものでございます。分野横断テーマにつきましては、ほかにも右のところに書いてございますけれども、地域支え合いということですか、子どもという観点ですか、また、交流、情報発信、ネットワークとそれぞれ分野を横断した形でくくっているような資料にしてございます。こちらの資料を参考にさせていただいて、また、委員の皆様の日頃の活動あるいは思いから、この区民会議でどういう地域課題をテーマとして取り上げていくべきかというところについて本日は御議論いただければと考えております。本日御議論をいただいた中で、皆様の意見を次の運営部会で御審議していただいて、検討テーマを決定していきたいと、また、その上で、第2回の区民会議において課題について審議を進めていきたいと考えているところでございます。

事務局からの説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、委員の皆さんには、準備会議の中でそ

れぞれいろいろとテーマを御提案いただいております。それに基づいて取り組むべき課題、もしくは新しい御提案等ございましたら、時間の許す限り意見交換を行って、区民会議で取り上げる課題テーマを絞り込んでいきたいと思っております。意見がある方は挙手をいただいて、御意見をお願いしたいと思います。ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、こちらから委員の経験のある方から指名させていただき、御意見をいただきたいと思っております。

梅原委員 子育ての部門で先ほど親の教育という話をしましたけれども、例えば私の小さいころの話をしますと、皆さん「正義の味方鞍馬天狗」って知っていますか。それに杉作という子どもがいて、新選組に捕まって、杉作は逆さづりされて、水責めに遭ったんです。鞍馬天狗の正体を明らかにしろと。杉作はそういう苦しい目に遭いながらも、決して秘密を漏らさなかったんです。私はうちのおやじに、いや、杉作はそんな苦しい目を見ている、適当なことを言って逃げればいいではないかと言ったんですよ。そうしたらうちのおやじは、英毅ちゃん、それを言ったら、おまえの人生は終わるよと。その終わるよと親に言われたときにすごく怖かったんですね。そうすると、それと同じようなことが学校にあって、親は、先生が教えない、だめだと言われるんですけども、私から言わせれば、それは家庭の中の教育でしようと言いたいですね。そういう家庭の教育がきちんと行われていないというところに今の子どもたちの不幸があるのではないかなという感じがしております。そういうことに力を入れてやっていきたいと考えております。

尾木委員 分野横断テーマ、えらい事務局が苦勞して立派な表をつくっていただきまして、いいと思っておりますけれども、例えば右のほうの一番上の地域支え合いをたどっていくと、防犯パトロールとか、災害時要支援者対策とか、つながっていくんですが、こういうことで地域の支え合いを最初に議論していただけるとありがたいなと思っております。

反町委員 私もカラーの表、すばらしいと思っております。ありがとうございます。このページとその後の資料を拝見しても、子育てのところに注目されている、御意見をいただいている方が多いようなんですが、私も幾つか限られた中で子育てを選ばせていただいた1人なんですけれども、かねてから、子育て支援が今、中原では大変需要があって、取り組んでいらっしゃる方も大変たくさんいらっしゃるんですけども、それでも追いつかないというか、それくらい需要があるという状況が1つ。

そして、最近、先ほどの新旧という言われ方をされることもございますけれども、以前から住まわれている方と新しく住まわれる方の交流が非常に重要であるということ。その交流と子育て支援をつなぐための1つのやり方として、中原の魅力発信。広い意味での魅力はたくさんあるんですけども、魅力があるなと思っております。その1つとして、いろいろつなげてしまって申しわけないんですけども、私も34年ぐらい中原に住んでいますけれども、大好きな地元の商店街のよさとかすてきなところはわかっているつも

りなんですけれども、やはりこうして大きな有名な商業施設ができていく今だからこそ、地元の商店街にも目を向けて、商店街だから、こんなに楽しい、こんなに温かいイベントとか行事があるんだよというところもお伝えしながら、それをトータル的につなげていけるのではないかな。それが場合によっては、子育て支援に関する会場、舞台が、例えば商店街だったりとか、世代間交流とか新旧住民交流、子育て、魅力発信という形でうまく絡めていけたら。新しくできている、大型商業施設とかも絡めていく形で。もう1つ、これから大事にしていかなくはないのは、なかはらメディアネットワークさんが立ち上がって、素晴らしいことだと思うんですけども、そういう方の力をかりてというか、フルに生かしてやっていけたらいいのかなと思っています。

塚本委員 資料を見ますと、やっぱり一番は子育てのところがボリュームとしては多いのかな。武蔵小杉の再開発のエリアも、新しく中原に住むようになって数年たった——私で6年ぐらいなんですけれども、まだまだこれから新しく住まれる方もふえてきて、本当に子どもが多い時期で、子どもが育つのは早いなと思って、私が入居したころはベビーカーだらけだったんですけども、今はもう小学校がパンク状態になってきているというところもありまして、本当に喫緊の課題というか、子どもの居場所ですとか、安全・安心については取り組まなければいけない課題なのかなと思っています。

同時に準備会議のときにも申し上げましたけれども、町内会の今までのあり方とマンションを代表する新しく住み始めた人たちのコミュニティの関わり方のギャップを埋めるような新旧住民の中での取り組みができたらいいなと思っています。

区民会議では一発のイベントで終了とはならないように、何かしら制度提案ですとか、これをモデルにしていろいろなところに展開できる形を探るとか、そのようなことを探っていければと思っています。

以上です。

中森委員 まず、一番取り上げていったほうがいいテーマとしては子育てですね。結構いろいろなところから新しい方も見えてきて、若い世代の方が多いところで、できるだけ子育てに関して目を向けていかないといけないかなと思っています。子どもが小さいときから区でいろいろと取り組んでいったほうが、大きくなっていくにつれ、親もいろいろ勉強していくのではないかなと思っています。大きくなったら結構大変な問題が起きてしまうので、できるだけ小さいうちから区で取り組んでいったほうがいいと思います。

あと外国籍の方、私は外国人で、外国籍の方のことにもちょっと目を向けてほしいと思って、せっかく中原区は外国人が川崎市では2番目に多いと聞いているので、問題が改善できるようにいろいろ取り組んでいったほうがいいと思って、協力したいと思っています。

以上です。

板倉委員長 大体ちょっとベテランの方の御意見を伺いました。今度は新しくと言うのは申しわけないんですが、新しく委員になられた方々に、今の皆さんの意見を聞いた中で発

言していただきたいと思います。

石川委員 今お話を伺っておりますと、多くの方が子育てとか、そういうものに非常に興味があるようで、また、資料2の2ページの下のほうにも書いてありますが、子育てというものは親を教育しなければいけないというようなことも書いてありますけれども、実際に親を教育するということは可能なんでしょうか。

それから、私の年齢ですと、正直言ってもう子育ては終わっているわけなんですよ。今さらどのようにやったらいいのか、よくわからないんですけれども、いろいろな男性の方、女性の方の話を聞いてみると、こういう話をもっと早く聞いていればよかったのかなとつくづく感じております。私の考え方としましては、最初のときにちょっと話させていただいたんですけれども、やはり商売をやっているということで、住宅地と違まして、商人のまちというのは割合緑が少ないんですよ。だから、どうしても緑を多くしてもらおうような、また自転車とか交通というものが非常に多いので、そういうものを何とか事故のないようにいろいろ検討してもらったらいいのではないかなと感じております。また勉強していきたいと思います。失礼しました。

井上委員 皆さんが一番御存じかと思えますけれども、中原区というのは、ほかの地域と比べて今、多くの方がこの地域に住み始めているというのが一番大きな特徴だと聞いていますので、皆さんが楽しく、幸せに暮らしていきたいという思いは共通認識としてあると思いますので、そこにある課題では、やはり子育て問題ですとか、そういったところでのコミュニティですね。住民同士の交流とかというので解決ができるのではないかとするのは、ここに書いてあるところから読み取れるような感じはしています。これに関しては即答えがあるということではなくて、やはりその都度その都度皆さんが取り組むことによって1つ1つ解決されることもあるし、また、新たな課題が出てくるのではないかと感じていますので、ここの中で出ている子育てというところには、今回の区民会議の中で取り組むというのは1つの大きな成果につながっていくのではないかと感じています。

梶川委員 今回初めて参加させていただきまして、勉強不足で本当に意見が言いにくいですが、私は文化協会から選出されたもので、文化活動を支援して、そのパイプ役として、いろいろ皆さんからの意見を聞いたりして、それをこういう会議に持ってくるのかなと思ったんですけれども、やはりいろいろ皆さんの意見を聞きますと、もっとほかにもあるんだなということに気がついて、6年前ぐらいからかしら。この辺はすごく人口増加しましたよね。駅のホームが物すごく、朝、もう落ちそうなぐらいラッシュのときは混んでいるんですね。ああいうのは何とかならないのかなと思って、落ちる方もいるのかなと思って、そういうのもこれから、会議で整備されたらいいのではないかなと思っております。

あとまた、これから皆さんの意見を聞いて、勉強していきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

園部委員 私たち中原の住人の生活のことですので、ほとんどのものがいろいろな分野と絡み合っているというか、関係性があると思うんです。私は前回の準備会議のときに子どもの交通安全が、小さい子どもの安全がとても気になったんですが、それとは別に、ごくごく最近経験したことで、町会の集まりがあったんですね。そうしましたら、それは私どもの町会だけだったのかもしれないんですけども、参加人員が非常に少なかったんです。そういうことで、まず町会で参加人員をふやす、数をふやすということでいろいろ考えていく必要があります。先ほど反町委員がおっしゃったようにいろいろなことと関連性があるんだけど、町会行事が楽しい、参加しよう、参加しなくてはという状況が実現できれば、それをきっかけにいろいろなことに参加してくださる。例えば今、小杉のタワーマンションとか、中原区の中でもすごくマンションがありまして、お話を伺うと、マンションの方がなかなか町会行事に参加していただけないということが、私たちの町会ではなく、ほかの町会、ほかの地区でもそういうことを聞きます。そういうマンションの方というか、特定するわけではないんですが、町会行事が楽しいから皆さんが参加する、そして、そういうマンションの方がなかなか参加してくださらないというときにも、どうしても参加したくなるような行事があれば参加してくださる状況が生まれてくるかもしれない。そういうことが重なり合って、大きく膨れ上がって、新旧住人と言うと変ですけども、私、たまたま子どもがそのマンションにおりますものですから、もっとマンションの住人も地域の活動にいろいろ参加しなければだめよと話をしているんですけども、新しい人と、いわゆるマンション族と町会との交流が深まっていくのではないかなと。そのためにも基本単位である町会の活動がすごく楽しいと実感できれば、ほかの分野でもすごくいろいろ皆さんを取り込む活動、イベントがありますけれども、防災に関しても基本は町会になるかなと思いますので、まず町会が皆さんを引き込むようなものを考えて、それが膨らんで、新旧住民の交流というか、その地域が一体化すればいいなと思っています。

ちょっと話があちらこちらに飛びましたけれども、要するに新旧の対象の方というか、その地域の方、いろいろな方が参加して、そのまちが活発になればいいなということです。

失礼いたしました。

田中委員 私は、災害といいたいでしょうか、防災の関係をちょっとお話し申し上げたいんですが、どこの町会も防災訓練とか、図上訓練とか、それぞれやっておられるわけですが、1つ御提案申し上げたいのは、緊急時、災害時要援護者の避難支援です。これについてお話し申し上げたいんですけども、私も実は、一義的にはその個票といいたいでしょうか、個人の情報を押さえて、それをまた、関係の方にお願ひして調査したりしたんですが、やはり個人情報のほうが優先されまして、なかなか思うようにいきません。まず、民生委員さんが中心になって調査と言うとおかしいんですけども、お伺いする場合、市、区でもこの制度について知っている方はそこに申し込むと。それで来るんです

が、調査が上がると、その個票が各町会長さん、あるいは自治会長のところに来るわけですね。そうすると、やはりそれをお願いするのは民生委員さんになります。そんなことで、緊急の何か起こった場合、例えば今、ひとり暮らしの方が非常に多うございまして、その中で御自身で区に申請される方、あるいはそれではなく、例えば民生委員がお訪ねして、いかがでしょうか、こういう制度もあるんだよということを言っても、それに賛同される人もなかなかいないわけです。うちは1人で大丈夫ですということ。ただ、何かあった場合、地震とか災害があった場合、緊急に誰がどう誘導するのか。地域の防災訓練はみんな動けますから、そのまま言えるんだけれども、そういう方々は置き去りになってしまうわけですね。これをチェックするのが大体民生委員さんがおやりになっているような感じがするんですけども、それにつきましては、ある程度までは個人情報をお守りすることができないのかな。つまり自分の持っている区の対象者のことは知っていても、そのほかのことは知らないわけですよ。公開していないわけですから。責任のある方々がおやりになっているわけだから、口外はされないと思うので、もうちょっと幅を広げていただければ大変ありがたいのではないかなと考えております。

以上でございます。ありがとうございました。

長尾委員 私はPTAですので、やはり子育てのことに関連したことを考えているんですけども、居場所がないと感じる子どもにとって、その子の親も、やはり地域に居場所がないと感じている場合が多いのではないかと思います。子どもの居場所、親の居場所を地域活動と結びつけて、少し上の年代の方にもいろいろ助けていただきながら、何か企画していけたらいいなと思います。

仲亀委員 私は障害者ですので、障害者の立場からお話をさせていただきたいので、非常に視野が狭いと思うんですけども、障害者といっても、視力と聾啞と盲聾者もいらっしゃるんですね。それと、父母の会は心臓病のお子さんをお持ちの方とか、知的障害をお持ちの方の父母の会とか、そういう団体の中の川崎市身体障害者協会から私はこの会議に出るようと言われて、どのようなことかも全然わからないで出席させていただきました。こんなに皆さん、すごい方たちばかりの中で、私自身としたら何一つできるわけではありませんので、障害者の立場としてお話しさせていただきたい。ということは、障害者の方たちが外へ出ていくためのまちづくりというんですか。苦にならない、例えば段差があって、あそこが歩きにくいから嫌だとか、あそこは段差はなくなったんだけど、やっぱり坂があってつかかるとか、そのようなあれのないようなまちづくりをお願いしたい。私たち障害者としたら、結局車椅子の方は車椅子の方でまた、私と違ったいろいろな苦労があると思うんです。そのような形で障害者の方たち1人1人の意見を伺って、皆さんがそれに対して協力していただけたらありがたいなと思っています。

以上です。

仁上委員 散歩をしていてちょっと気がついたことなんですけれども、非常に街並みが気

持ちいいところとそうでないところ。これはやむを得ないかもしれないんですけども、緑の多いところは非常に気持ちよく散歩ができる。そうでないところもあるんですけども、もう1つ、ちょっと目をやると、ごみの集積所がかなり町内会というか、まちによって差があるような気がするんですね。非常にきちんと片づけられているといいますか、最近、防鳥ネット、黄色いネットが支給されて、それを皆さん御利用になっている。それがきちんと管理されていて、その中に分別されたリサイクルごみがきちんとおさまっている。そうでないところも。もうそうだと、本当に防鳥ネットもだらしなく片づけられていないような状態でごみのはみ出ている、カラスがまたごみをついばんでいるようなところだと、散歩をしていても、ちょっと興をそがれるような気がするんです。これを例えばこういった皆さんが集まったときに、テーマはちょっとそれているかもしれないけれども、ごみ問題で各町会に区民会議を通して発信できる、そして隅々まできれいなごみ集積所ができると、これはなかなかいいのではないかなという気がするんです。

1つ、川崎市というのは、過去何年か前まで、ごみを分別しなくても出せた時期がありましたよね。ただし、それはほかの地区、地方なんかを見ますともうとっくに分別されている、そういう点では川崎市は分別が遅れていた。そういうこともあって、集積所の差があるのかなというような気がするんです。まちがきれいになって、誰も嫌な気持ちはしないので、テーマとしてはちょっと取り上げにくいかもしれないけれども、そんなことが区民会議のテーマの1つになったらいいなと個人的には思っております。

以上です。

萩原委員 防犯、防災とかは結構今までやってきて、子育ても川崎市は一生懸命やっているので、中原区区民会議の特徴としてこういうことに取り組むということの1つには、ごみとかリサイクルの問題が、住宅とか高層マンション、商店、工場、企業全てで取り組める課題ではないかなと思って、私もそれは一応書きました。

ただ、防犯、防災であっても、子育てであっても、結局は中原にたくさんの方々がお住まいになるようになって、いろいろな方々が共通して取り組めるもので、決して一部の方のお話ではないと思うんです。どんなことでも。例えば障害をお持ちの方とか、健常者とか、そうでないとかというのは全く関係なく。どういう体の能力が、どの段階で、どのように失われたり復活されたりというのは、どんな人でも起こり得ることで、小杉駅の交通バリアフリー法の構想検討委員をやったときにもその話をずっと言っていたんですけども、弱者に優しいまちづくりといっても、本当に弱者かどうかというのは、例えば子どもたちでもすごいパワーがあるわけですし、年をとった方々もすばらしい力がある。そういうものが輝けるようなまちであればすばらしいわけで、その人たちを助けたいとかというよりも、本当にみんなが輝けるようなまちになればいいなと思うので、今回は2つか3つのテーマに絞りましょうということなので、とてもテーマ選びが難しいかなと思いますけれども、広い分野の方々で一緒になって取り組んで、それが中原で一生懸命やっているん

だよというまちの活動の魅力の発信になれば、区民会議がかた苦しいものではなく、もうちょっとみんなにとって、ああ、すてきなことをやっているのではないか、中原もやるねというような活動になればいいなと思っております。

松澤委員 初めて参加させていただきまして、皆さんの意見、大変参考になりました。私のほうは出身が各企業の労働組合でございまして、実は中原区でも年に1度労働組合と組合員から挙げた意見をぶつける、論議するような場を設けさせていただいております。その中で大きく挙げているのは、1つは交通の問題です。やはり皆さんが言われたとおり、近年人口増加はかなりありますので、交通の1つはインフラがなかなか厳しくなってきたかな。

もう1つはやはりマナーですね。ルールを守っていくというところですね。この辺が大きな課題になっているかなと。

もう1つ、組合員から挙がってくるのは、やはり周辺に住む組合員も結構いらっしゃいます。挙がってくる1つとしてはやはり子育てなんです、そもそもどちらかというと、預ける場所がないとか、その抽せんから漏れた、どうしようというような相談が我々に来るといったケースが結構多いです。ここにも書かれていたんですが、保育ママとか、新しいシステムもあると思います。この辺を我々も組合員に伝えていく必要もありますし、逆に言えば、こういった場でいいアイデアがあれば、それを伝えていくというのが必要かなというふうには思っています。保育ママ1つも、組合員に聞くと、認可保育園とか、しっかりしたものを求める傾向が多分あるんだと思うんです。逆に言えば保育ママはこんなしっかりしている人なので、ここに預ければいいというのが出てくれば、それでまた、利用者というか、うちの組合員も結構使うようになるのではないかなと思ったりもしますので、ここに書いてあるような周知の仕方とか、そういったところの工夫がこの場でいろいろ議論できたらいいかなと思っています。

話が戻ってすみません。交通のほうは、うちの通勤者は電車が多いので、やっぱり自転車との関わりが朝とか夕方に結構あるみたいなんですね。自転車のマナーのところをもう少しアップできればというのがよく挙げるところです。例えば通行もあるんですが、駐輪とか、その辺にいろいろとめてあったりするケースもあると。例えばどこかの市だと、ここは違法駐車の場所でありまして、とめても構いませんが、そのまま持っていかれてしまいますよみたいなことが書いてあったりとかして、表現の仕方1つでそこに置くのをやめたというケースもあるらしいので、何か工夫とかがこの場でいろいろ出せたらいいかなと思っております。

以上です。ありがとうございます。

松本委員 中原区は人口がふえておりますが、その中身の問題だと思います。だから、安全・安心で、いつまでも中原区に住み続けたい、暮らしたいという形でもってければ、要するに、ただ中原区にいて、その方がまたほかの県に流れるのではなくて、中原区がい

いので居続けたいということについては、地域の支え合いといいますか、町内会活動の活性化ということも1つございます。それは当然地域とのコミュニティが必要になってきます。町内会の中がまとまっていくというのはかなり難しい問題だとは思いますが、やはり、マンション世帯。どの町会でも必ず、住み続けられるまちの中にはマンションがあります。それが、例えば150世帯とか、80世帯とか、何世帯かのマンションはあります。マンション世帯の方も町内会の役員になっていただいて、同じフロアで活動していくという形になれば、当然その町内会の活動を通じて1つのコミュニティができてくるわけなんです。それで、役員の中で1つ1つ課題を解決していくという形で、つながっていくわけです。

ごみの問題にしても、つながってくるのは、出すときのモラル、マナーの問題とか、収集した後の片づけもちゃんと当番制でやっていくと。私は思うんですが、カラスとか猫のせいにするんですが、決してそうではなくて、要するに出し方が悪いので、カラスが教えてくれているわけなんです。私が見た範囲では、どこのごみの集積所の問題もやっぱり人が原因なんです。人のマナーが悪いところについては、カラスとか、猫とかがちゃんと引っ張り出してくれます。これは午後になっても、網をかけていなくても、ちゃんとしているところはカラスもつつかないというのもあります。それはマナーの問題にもつながってきます。町会活動を通じてみると、さらに高齢者がふえてきております。子どももふえてきておりますが、高齢者もふえております。高齢者の中には、やっぱり認知症の方もふえてきております。弱者の支援といって、障害者の方を通じて、災害時要援護者とかが安全・安心のまちづくりという形でかなりつながってきておりますので、私とすれば、テーマを絞るとすれば、先ほどの子どもという形も非常に大切だと思うんですが、地域の支え合いというテーマで持ってくればつながっていくのではないかと思います。

以上です。

山崎委員 私はこのまちに住んでまだ30年ちょっとという、皆様からすれば短いほうになるのかもしれませんが、だけれども、本当にこの30年で便利なまちになってきているという意識はとてもあります。便利になると、まず意識的につながりをつくらないと、本当にこのまちの中だけで全部済ませてしまうことができるということは、情報を自分で入れなくても、ちょっと外へ出れば手に入ってしまうので、1人で暮らしていると1人で全部物事が済んでしまうという状態が出てくるのではないかなと思っています。私も実際、渋谷へ行かなくても、横浜へ行かなくても、小杉で手に入るものがとてもふえましたので、電車に乗らなくなったという事実、このごろ乗らないなという感じになっています。意識的なつながりづくりについて、同じ場所、同じところで何かをするということはすごく大事だと思うので、やはり大きな中原の特徴になるようなイベントを幾つかつくっていったらいいなとは思っております。

健康推進のところに食育が入っているんですが、ここで皆様に言うのもなんですけれど

も、豊かな人格形成が食育の最終目標になっていますので、まちをつくるのは人と松本さんもおっしゃっていました。ともかく人がまちをつくるのですから、人をつくらなければだめというのを、やはりもう1度。同じ釜の飯を食うようなイベントをぜひ私は希望します。

板倉委員長 ありがとうございます。時間も大分押しておりますので、意見交換はここまでとさせていただきます。

なお、区民会議で取り上げるテーマにつきましては、先ほど設置いたしました運営部会で決定をしていきたいと思えます。

最後に、運営部会の開催を含めて、今後会議を進めていく上でのスケジュールについて、事務局から御説明をお願いします。

事務局 それでは、資料3、第5期中原区区民会議スケジュール（案）をごらんいただきたいと思えます。このスケジュール（案）では、提案させていただいた専門部会を開催した場合に、第5期区民会議がどのような流れで進行していくのかをあらわしたものでございまして、全8回の本会議に対して、どのように部会との関係が成り立っているのかをお示ししたものでございます。本日の第1回の本会議でテーマや運営方法などの検討を行いまして、最終の第8回の本会議で取りまとめを行います。第5期におきましては、2年間の本会議第1回から第8回までで、2つの課題の審議を行うスケジュール（案）を御提案させていただきたいと思えます。

なお、第4期につきましては次のページに参考資料がございますけれども、この参考資料のとおり、3つのテーマを審議いたしました。ごらんのとおり、1つの検討テーマを審議するにあたりましては課題調査部会を2回程度開催いたしまして、解決の方向性の結論を出していただくといった、時間的にかなりタイトなスケジュールとなっております。委員の皆様の中からは、検討テーマを十分に審議するには時間的な余裕がなかったという御意見をいただいたこと、また、事務局としても、審議を充実させて、深めていただくという必要性から、この辺も踏まえまして、1期で2テーマという御提案をさせていただくものでございます。

説明は以上でございます。

板倉委員長 何か質問ございますか。準備委員会でも同様な資料の説明があったので、問題がなければ、この順番で進めていきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 では、このスケジュールに関しては運営部会で今後決定していきたいと思っております。よろしくをお願いします。

（2）区民会議の広報について

板倉委員長 続きまして、区民会議の広報について、事務局から資料説明をお願いしたい

と思います。

事務局 それでは、区民会議の広報について説明をさせていただきます。

お手元の資料4をごらんいただきたいと思います。第5期中原区区民会議では、区民会議の取り組みを広く区民の方に知っていただくとともに、区民会議の知名度を向上させるため、第4期に引き続きまして、広報を進めていきたいと考えているところでございます。

まず、区民会議だよりでございますが、中原区区民会議での審議内容、また、今後の取り組み方針などをきめ細かく区民へ発信するために作成するものでございまして、発行回数は年3回程度でございます。発行部数は各8,000部、配布先といたしまして、各町内会・自治会（閲覧用）、区内の主な公共施設に配架する予定でございます。

また、区民会議の報告書でございますけれども、これは中間と最終の報告書をそれぞれつくっております、区民会議の取り組みを取りまとめ発行するものでございます。発行回数は年1回でございます。発行部数につきましては、詳細版が500部、概要版が8,500部ということで、配布先につきましては、詳細版は市内図書館、行政関係など、また、概要版につきましては町内会・自治会、あとは区内の主な公共施設に配布をしてございます。

また、中原区のホームページでも区民会議について広報してございまして、概要としましては、区民会議の開催告知、議事内容を会議資料とともに公開をしてございます。随時更新をしております。

それ以外に、市民だよりの中原区版の紙面を活用して、広報してまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。先ほどもお話しありましたように、区民会議はまだ知名度が高くないという状況にありますので、広報という形でアピールをしていきたいと思っております。

今の説明で何か御意見はございますか。

萩原委員 ちょっと質問なんですけれども、よろしいですか。区民会議だよりの広報の仕様というのは、川崎市のほうで決まりがあるんでしょうか、それとも中原区に自由に任されているんでしょうか。この区民会議だよりの広報がすごくかた苦しくて、魅力的に思ったことが1度もないので、これって全部の区でこのようにしなさいみたいなのが川崎市で決まっているのか、それとも区ごとに結構自由につくっているのか、知りたいなと思ったものですから。たぬきくんがいるのはいいんですけれども、いるだけで、生き生きしていない感じがして、ちょっとモデルチェンジをすればいいのではないかと考えています。

事務局 区民会議だよりににつきましては、各区それぞれ趣向を凝らしております、見やすいように紙面を工夫したり、どちらかというところ、審議内容を重点的に取り上げる区もあつたり、それぞれの区のカラースタイルで作成していると思います。したがって、御指摘があ

ったように、もうちょっと見やすい、親しみやすい「たより」ということであれば、これは事務局で検討させていただきたいと思っております。

塚本委員 私も質問なんですけれども、このように当然市民の方に告知することは必要だと思うんですけれども、今まで、例えば昨年度に区民会議についての問い合わせなり、御意見なり、区民から何件ぐらい寄せられているのかというのはおわかりになりますでしょうか。ゼロとか。

事務局 そちら辺については、残念ながらほとんど問い合わせがありませんので、特に数字として残してはおりません。

7 その他

板倉委員長 それでは、このほかに事務局から何かございますか。

事務局 それでは続きまして、区の木の新規制定についてチラシをお配りしておりますので、それについて簡単に説明をさせていただきたいと思っております。

区の木の新規制定のチラシをごらんいただきたいと思います。区の木の新規制定につきましては、中原区では平成10年に区制25周年を記念しましてパンジーを区の花に制定いたしました。区の木についてはこれまで制定しておりませんでした。区の木の新規制定は区の魅力発信の重要なツールとなるだけではなくて、中原区民の地元に対する愛着心の醸成を図るとともに、ふるさと中原、緑豊かな自然環境への関心を高めることが目的になると思っておりますので、ことしが市制90周年の年ということで、今年度改めて制定することとしたものでございます。

区の木の新規制定に当たりましては、区民から十分な理解を得る必要がございますことから、地域の関係団体から推薦された委員で構成する中原区区の木制定委員会を設置いたしまして、要項の整備、募集方法、樹種の選定等を行ってきたところでございます。募集期間は8月1日から9月16日まで、応募資格は区内在住・在勤・在学の方でございまして、応募方法はチラシの裏面に記入の上、応募箱に投函していただく、または郵送、ファクスによる応募、また、区ホームページでの応募も可能となっております。

裏面をごらんいただきたいと思います。応募用紙でございまして、区の木の新規制定候補として、街路樹や公園、神社などでよく見られる木、また、歴史にゆかりのある木など区の木にふさわしいと思われる木として、事務局で選出した木、また、委員の方から推薦をいただいた木の中から、委員投票により候補を5種選定したところでございます。

なお、候補以外の木を応募することも可能でございます。また、募集に際しましては、区の木の新規制定と地域経済の活性化を目的に、応募していただいた方の中から抽せんにかわさき名産品のうち中原区ゆかりの名産品等を贈呈することとしてございます。

なお、広報につきましては、市政だより区版8月1日号及び区のホームページによる広報、各町内会へのチラシの配布、掲示板への掲出のほか、区内公共施設にもチラシの配架

を行う予定でございます。

説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それでは、以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。

先ほどちょっとお話ししたんですが、ここで区民会議参与の皆様一言ずついただきたいと思います。本日の議論を聞いていただいて、お気づきの点、助言等ございましたらよろしくお願ひしたいと思います。

大庭参与 皆さん、きょうはどうもお疲れさまでした。おくれて来まして申しわけありません。大庭裕子でございます。きょうは第5期の区民会議スタートの日、第1回目の区民会議ということで、新しく委員になられた皆様は緊張もされたのではないかなと思います。私もこの区民会議に何度も出席をさせていただいて、本当に中原区は課題が多い行政区だなと実感しております。そしてきょうは子育てのことも、中原区は30代、40代の方が大変多いということもあって、子育てされている方も多いといった御意見もありましたし、各分野から来られているということで、絞るということも本当に難しいと思います。そういう点では今、地域の問題、防犯、防災というところでは、2011年3月11日の東日本大震災直後は本当に防災問題が活発に議論されたという経過もありまして、やはり積み上げてきたものもあると思うので、またここで分断にならないように、1期から4期までの積み上げてきた議論もぜひ生かしていただいて、さらに一層、それをどう充実させていくのかという議論もしていただいて、ぜひこれからのテーマを絞っていただけたらと思います。

きょうは本当にお疲れさまです。ありがとうございます。

押本参与 改めまして、こんにちは。市議会議員の押本です。長時間の会議、大変お疲れさまでございました。先ほど板倉委員長から助言ということでありましたけれども、ここにお集まりの皆様はそれぞれの分野に根差した活動をされている皆様でございますので、私から物を申すことは大変おこがましいことでございますけれども、一言だけ御挨拶させていただきたいと思います。

資料2のテーマ検討資料を拝見しますと、多岐にわたる課題が山積しているんだなと思います。また、議会の中でも議論されているテーマも多く見受けられます。やはりこの区民会議では、先ほど萩原委員からもありましたけれども、経験のある皆様の集まりですから、多様性のある意見をくみ上げていただいて、区民会議ならではの取り組みを期待しておりますし、また、期の最初のお話をさせていただくんですが、傍聴席、見ていただいてもわかるとおり、実はきょう、傍聴に来ている方が1人もいない状況でございます。この傍聴席が埋まるような活動を期待しているところでございます。よろしくお願ひいたします。

結びになりますけれども、板倉委員長を先頭とする第5期の皆様方のますますの御活躍を祈念申し上げまして、甚だ簡単でございますけれども、一言御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

松川参与 長時間にわたりまして、本当にお疲れさまでございました。松川正二郎でございます。数名の委員の方から町内会・自治会の話がちらと出たわけでございますが、議会でも今回、超党派で町内会の活性化、また、町内会・自治会の加入の促進という条例をつくらうではないかということでプロジェクトチームが立ち上がりまして今、2回ほど会合が終わったところでございます。町内会を振り返ってみますと、子ども会がだんだんなくなってきてまして、町会では子ども会がなくなっているのだけれども、こうやって区民会議では子育ての話題になってくるというようなところで、もういろいろな部分で過渡期に入ってきているのかなというのが実情であると思います。

また、安心・安全ということでございますので、1つ僕も情報だけですけれども、先週の7月21日から27日の1週間で中原区内でどんな犯罪が起こったかと申しますと、まず、空き巣が2件、ひったくりが6件、オートバイ盗が2件、振り込め詐欺が2件ということで、人口が多くなっていきますと、犯罪ももちろん多くなっていくというような傾向にあると思います。ですから、安心・安全という交通環境もそうでありますけれども、その辺も皆さんの視点からいろいろ活発な御意見を出し合ってくださいまして、充実した区民会議にさせていただければなと思っておりますのでございます。

最後に、今回新しく川崎フロンターレ中原アシストクラブの井上さんも入っておりますので、また、イベントの得意な反町さんもいますので、広報に向けては大変にしっかりできると思いますので期待しております。皆さんの御活躍を期待申し上げますところでありませう。

ありがとうございました。

松原参与 2時間にわたりまして、大変お疲れさまでございました。第5期ということでもありますけれども、それでは、これまでの第1期から4期まではどのような審議テーマであって、どういう結果が出たのか、何が課題であったのかということについて、果たして第5期の皆様がどの程度御存じなのかということでありまして、まず、そういった資料も今回必要であったのかなと思います。今までの審議テーマ、内容、課題等々については本当に解決したのかということについては、まだまだ継続して続けていかなければいけない課題もあるのかなと、そんな思いもしております。

今、松川参与から川崎フロンターレの話がありましたけれども、今Jリーグで3位でありますから、優勝の可能性が大でありますから、もし優勝したときは区民会議で何をやるかと。こんなことも別の枠で考えていただいて、これこそまさに中原区、地元の川崎フロンターレを通じてまだまだ大きくPRできるようなことでもありますから、準優勝でもいいですね。優勝か、準優勝、とにかく「優勝」という文字がつけば、中原区、地元の川崎

フロンターレということで大きなPRができるのかなと、そんな思いもしております。

せっかく貴重な時間をおつくりいただいた20名の皆様、そしてまた、行政の皆様、県議会、市議会の参与ということでありますので、基本的にここだけの話、ここだけで終わるのではなくて、地域に帰って皆様方が、区民会議がどういうものであるのだと。あれはちょっと意味がないなという話になってしまうのか、いや、いや、みんなの意見が生かされるんだよ、商店街、地域の皆様、どんな意見があるのということで、地域から意見をくみ上げて、この会でいろいろ議論をいただくというのも1つ重要なのかなと、そんな思いもしておりますので、どうぞまた地域の皆様におかれましては、代表ということではありませんけれども、地域の細かい課題等々についても、自分の専門分野だけではなくて、全てオールマイティに話ができるように、次回また、テーマが決まるということでございますので、それぞれのお立場の中で決められたテーマについて御議論を賜われればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

吉岡参与 最後になりましたが、市議会議員の吉岡俊祐でございます。きょうは大変長時間にわたりまして審議、また、御意見を拝聴させていただきました。大変ありがとうございました。

最後にテーマについてのお話をそれぞれいただきましたが、その中に、ここで言う話かどうかは別なんですけれども、駅のホームの改善の話がちょっと出ましたが、実は小杉駅にホームドアをつけることを神奈川県でJRに要請して、予算もとったという話があります。今後も皆さんの目線でしっかりと見ていていただければと思います。何しろ区民会議について申し上げますと、中原区は川崎市内の区民会議をずっとリードしてきたと私は個人的には自負しております。皆さんのおかげで中原区の議員として大変誇りに思っているところであります。この場で議論されたことがまた大きく中原区の発展につながっていくものと確信しておりますし、また、川崎全体を市民目線でリードしていける区ではないかと思いますので、今後の皆さんのさまざまな御審議に大変大きな期待を寄せさせていただきますと思います。

きょうは長時間、大変ありがとうございました。

板倉委員長 どうもありがとうございました。ただいまの各参与の御発言に関しては、今後の区民会議の参考にしていきたいと思っております。

それから、今、松原参与からこれまでの区民会議の内容という話があったんですが、一応準備会議のときに全ての報告書を各委員に配っておりますので、その辺は御安心ください。

それでは最後に、事務局から何かございますか。

事務局 それでは、事務局から連絡事項を幾つかさせていただきます。

まず、先ほど資料の3で今後のスケジュール（案）をお示しさせていただきましたが、次回第2回の区民会議につきましては候補日が幾つかございまして、10月になりますけれ

ども、10月15日（水）、16日（木）、17日（金）、そして21日（火）のいずれかの日の午後
に開催することを検討しているところでございます。御都合の悪い方がいらっしゃいまし
たら、事務局までお申し出いただければと思いますけれども、また後日、日程の調整はさ
せていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

また、区民会議の広報の関係で何点か本日本願ひがございまして、先ほど御承認いた
きましたけれども、本日の区民会議の内容につきましては、区民会議だよりを作成してま
いります。先ほど萩原委員からもいろいろと御指摘いただいたところでございますけれ
ども、お手元に参考資料である、2年前、第4期の一番初めの区民会議だよりを御用意さ
せていただいておりますけれども、今回第5期の初め、第1号ということになりますので、
こちらにつきましては、やはり皆様の御紹介をさせていただく紙面づくりをさせていただ
きたいと考えております。これについては前回と同様の形で皆様のお写真と今後の検討し
ていきたい内容、抱負といったことを紙面に載せていきたいと考えているところござい
ます。

その上で、今回の開催通知に同封をさせていただいたもので、なかはら区民会議だより
の第22号について、皆様の取り組みたいこと、意気込みについて御記入をいただくため
の紙を配らせていただいております。何人かいただいている方もいらっしゃいますけれ
ども、本日本持ちいただいている方につきましては、後ほどアンケート箱を御用意して
おりますので、こちらをお書きいただいて、アンケート箱のほうに御提出いただければ
と思います。よろしくお願ひいたします。

さらに、こちら、皆様の御紹介の紙面をつくっていく上で前回のものを見ていただ
ければと思いますけれども、お写真を撮らせていただきたいと思ひます。この写真、本
日皆様の全体の写真とお1人お1人の写真ですね。お忙しい中、ちょっと時間が遅くな
って大変恐縮なんですけれども、この会議終了後に委員の方につきましては残ってい
たいて、写真撮影に御協力をいただければと思ひております。

写真につきましては、まず、この会場で集合写真を撮らせていただきたいと思ひ
ます。時計のあるほう「中原区区民会議」という看板がかかっている真下のあたりに
皆様、まずお集まりいただきまして、そこで全体の写真を撮らせていただきます。そ
の後、お1人お1人の写真につきましては別の部屋、505会議室を御用意してござい
ますので、こちらにつきましてはお1人ずつ、基本的には先ほどの委員名簿の五十音
順でお写真を撮らせていただきたいと考えておりますので、集合写真を撮った後につ
きましてはお1人お1人、こちらのほうから御案内させていただきますので、505
会議室までお荷物を持って移動していただければと思ひます。

なお、大変恐縮ですけれども、先ほど運営部会の委員になられた方につきましては、
次の、第1回の運営部会の開催日程をこの後決めさせていただきたいと思ひます
ので、お1人お1人のお写真を撮った後に505会議室にお残りいただければと思ひ
ます。そのような

形で進めさせていただく関係で、お1人お1人の写真については、基本的には五十音順なんです。運営部会のメンバーになられた方につきましては後のほうにさせていただいて、撮った後、日程調整をさせていただきたいと思います。そのほかの方は、お写真を撮らせていただいた後についてはそこで終了ということでお帰りいただければと考えておりますので、申しわけありませんけれども、もうしばらくお待ちいただきますようお願いしたいと思います。

事務局からは以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。運営部会の日程の調整を行いますので、委員の方はよろしくお願ひします。大分遅くなると思いますけれども、申しわけありません。

8 閉会

板倉委員長 皆さんに御協力いただきまして、円滑な議事を進めることができたことに、副委員長ともども深く感謝申し上げます。

これで、第1回の中原区区民会議を閉会したいと思います。どうもありがとうございます。

午後4時17分 閉会